

sTLD .asiaについて

早稲田大学大学院理工学研究科/JPNIC ng-tf

史 虹波

申請及びスポンサー組織

- 申請及びスポンサー組織は共にDotAsia Organisation
 - 中国の香港に登録されていた有限会社
 - 今後は会員制非営利団体に切り替える
 - 免税手続きも行う

.asiaとは

- .asiaはLDH(Letter-digit-hyphen)という原則でドメイン名の受付を行う
- .asiaは多言語ドメイン名の実施に試みを行う
 - 多言語ドメイン名の実証については技術標準を厳守し、慎重に且つ段階的に実証作業を行う
 - ccTLDとICANNと提携し、実証を行う
- 登録紛争解決についてはUDRP(Uniform Dispute Resolution Policy)とCEDRP(Charter Eligibility Dispute Resolution Policy)を厳守する
 - 地方的なDRPは多言語ドメイン名の実施に多いに役にたつことが予測されている

ドメイン管理

- レジストリはDotAsiaとなる
- AfiliasはDotAsiaレジストリの委託レジストリサービスプロバイダとなる
 - Afiliasは.INFO(120万個)と.ORG(280万個)を管理している
- ドメイン管理は経験豊富なccTLDによって運営される

.asia支配管理

- 役員会、諮問委員会、運用委員会が設置されている
- 役員会は11名の役員によって構成されている
 - 8名はスポンサーメンバーから選出
 - 2名は共同スポンサーメンバーから選出
 - 1名はDotAsiaのCEOとなる
 - 役員任期は2年で、再選の資格がある
 - 役員報酬がない
- 諮問委員と役員重複はいけない
- スポンサーメンバーはccTLD+APNG

重要な会合など

- 役員会は年3回開かれる
 - 1回はAPRICOTに合わせる
 - 2回はICANN会合に合わせる
- 諮問委員会は年2回開かれる
 - 1回はAPRICOTに合わせる
 - 1回はAPRICOTを除くアジア太平洋インターネット会議に合わせる
- 年次総会はAPRICOTに合わせて開催する